

発達障害作業療法学演習

[演習] 第3学年 前期 必修 1単位

《担当者名》○本家寿洋 honke@hoku-iryo-u.ac.jp 依田泰知

【概要】

発達障害領域の作業療法における治療の実際と支援方法について演習を通じ学修する。
また評価および作業療法プログラム立案について、模擬事例を用いたグループワーク・プレゼンテーションを実施する。

【学修目標】

【一般目標】

発達障害領域の作業療法における治療的関わりについて、演習を通して理解を深める。

【学習目標】

1. 発達障害領域の作業療法における治療の実際と支援方法を理解し、実施することができる。
2. 症例に応じて適切な評価を選択し、作業療法プログラムを立案することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	オリエンテーション 姿勢分析とポジショニング	授業の進め方、授業概要 姿勢分析とポジショニング	本家寿洋 依田泰知
2			
3 }	姿勢分析とポジショニング	姿勢分析とポジショニング ポジショニングの実技	依田泰知
4			
5 }	遊びの治療的応用	遊びの治療的応用 グループワークを通じた遊びの創出	依田泰知
6			
7 }	コミュニケーションの支援	コミュニケーションの支援の実際	依田泰知
8			
9 }	ICTを活用した支援	ICTを活用した支援の実際 ICT機器の体験 スイッチ制作体験	依田泰知
10			
11 }	事例演習	グループワーク プレゼンテーション	依田泰知
12			
13 }	事例演習	グループワーク プレゼンテーション	依田泰知
14			
15	まとめ	本講義のまとめ	本家寿洋 依田泰知

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

グループワーク、プレゼンテーション 30%

定期試験 70%

【教科書】

適宜講義資料（レジュメ）を配布

【参考書】

テレサ・E・パウントニー 他 著 「脳性まひ児の24時間姿勢ケア」 三輪書店 2006年

Jung Sun Hong 著 「正常発達-脳性まひの治療アイデア- 第2版」 三輪書店 2014年
岩崎清隆 他 著 「発達障害の作業療法【第3版】-基礎編-」 三輪書店 2019年
岩崎清隆 他 著 「発達障害の作業療法【第3版】-実践編-」 三輪書店 2019年

【学修の準備】

この授業は、2年次「発達系評価学」「発達障害作業療法学」で学んだことをもとに演習を行う。そのため、予習、復習については以下のように準備すること。

予習は、次回授業範囲に該当する授業プリント等を復習し、理解しておくこと（20分）。

復習は、2年次、3年次で使用した教科書および演習で使用したプリント等を活用し、今まで習得した知識と演習内容の統合を行うこと（20分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

本家寿洋（作業療法士） 依田泰知（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、福祉機関、特別支援学校での臨床経験を活かし教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している